

JDつうしん



警察庁・国土交通省認可共済
ジェイ・ディ共済協同組合



令和七年 謹賀新年

■ 新年のご挨拶

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、JD共済にとって、大きな節目の年となりました。

5月には、創業者であり、私たちの礎を築いてくださった丹澤名誉顧問が逝去されました。そのご生涯を振り返る中で、丹澤名誉顧問が残された偉大な業績と、私たちが引き継ぐべき使命の重みを改めて実感いたしました。

丹澤名誉顧問は、昭和、平成、令和という三つの時代を力強く生き抜き、運転代行業界の発展と地位向上に尽力されました。その取り組みは、業界が社会にとって必要不可欠な存在と認識される基盤を築き、持続可能な成長に大きく貢献するものでした。

特に、業界全体を牽引するリーダーシップは、私たちが深く学び、継承すべき模範であり、その信念に満ちた歩みは、業界に希望をもたらし、周囲に勇気と活力を与えました。私たちはその遺志をしっかりと受け継ぎ、丹澤名誉顧問が築かれた確固たる基盤をさらに発展させることが重要な責務であると考えております。

現在、運転代行業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況です。価格競争の激化や労働力不足といった構造的課題は未だ解決に至らず、それらの影響が組合員の皆様の営業活動に支障を及ぼしていることを深く認識しております。

また、JD共済におきましても、事故受付件数の増加に伴う共済金支払額の増大に加え、間引き登録や不正請求といった問題が、健全な事業運営に深刻な影響を及ぼしています。

これらの問題は、JD共済の財務基盤を脅かし、組合員間の信頼を揺るがす重大な事態であると考えております。

これらを解決するに当たり、根本的な原因を明らかにするための分析や調査を進め、具体的な対策を実施していきます。また、組合員の皆様に対しては、事故防止や不正行為に関する情報提供といった啓発活動などを積極的に行ってまいります。

今後も、事業運営の安定とさらなる発展を目指し、体制を一層強化するとともに、不正行為には厳格に対応し、信頼性の高い事業運営を実現してまいります。また、運転代行業界が社会全体からさらに信頼される存在となるよう、関係機関と連携し、業界の持続可能な発展



理事長 長嶋 幹男

